

義務教育課だより 4月号



春は「出会い」の季節です。子供たちや保護者、地域の方、同僚の先生方等との新しい出会いを大切にしながら、それぞれの学校で素敵なスタートが切れることを願っています。

隠れたカリキュラムの充実を！

「隠れたカリキュラム」とは、「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童生徒自らが学びとっていく全ての事柄」を指します。

例えば、「担任が大きな声で挨拶をする学級では、自然に挨拶ができる子供が増える」「思いやりのある温かい言葉掛けができる担任の下では、互いに支え合う学級の雰囲気生まれる」などがその実例に当たると、文部科学省も人権感覚の意識を目指す取組として、その重要性を指摘しています。

子供たちは、教師を一つのモデルとして日々の生活における行動や言動の在り方、他者との関わり方等を学んでいきます。「時間を守る」「場をきれいにする」「丁寧な言葉遣いをする」等、教師が率先してよいモデルを示すことで、子供たちの成長を後押しすることができます。

新年度を迎えるに当たって、教育計画や各種指導計画等、顕在化しているカリキュラムを大切にするとともに、ぜひ、この「隠れたカリキュラム」も意識しながら日々の教育活動を充実させていきましょう。

今年度も県の事業に対する御理解と御協力を！

今年度も愛顔あふれる子供たちの育成を目指して、各種事業を推進していきます。

1 えひめ版学力向上推進事業

昨年度は、「えひめICT学習支援システム」を開発し、CBT版「愛媛県学力診断調査」、「チャレンジテスト」を実施しました。今年度は本システムに、「誤答再チャレンジ機能」や「ヒント機能」、「タイムトライアル機能」等、子供たちの学習意欲の向上につながる新たな機能を追加することとしています。

また、国語力強化のための「読書通帳アプリ」やICT操作スキル向上のための「タイピング検定アプリ」を本システムと連動させる形で新たに開発・運用する予定です。



2 不登校児童生徒等支援事業

昨年度は、不登校児童生徒一人一人に寄り添った多様な支援をするために、3市4校の中学校をモデル校としてサポートルームを設置しました。今年度は、更に4市4校に追加設置する予定で、引き続き、不登校児童生徒の多様な学習機会の確保に努めていくとともに、モデル校で得た知見やノウハウを全県に広げてい

きたいと考えています。

3 えひめジョブチャレンジU-15事業

中学生が県内の多種多様な産業について知見を広め、よさや魅力を実感し、望ましい勤労観や職業観を形成することをねらいとした本事業も、6年目を迎えました。今年度も、市町、企業等との連携を一層深め、東・中・南予の各地域の特性や強みを生かした5日間の職場体験学習を実施し、中学生のキャリア教育を支援していきます。

昨年度の活動の様子を、「えひめジョブチャレンジU-15事業職場体験学習受入企業等データベース」で公開しています。「えひめジョブチャレ」で検索し、ぜひご覧ください。

えひめ教職員ふれあい広場の活用を！



本広場は、「愛媛県内の教職員が、主として学校教育に関する情報交換や相談を気軽にできる場の提供」を目的としてHP上に開設しています。広場には、「義務教育課だより（毎月発行）」をはじめ、「学力向上だより」、「ICT活用実践事例」等を掲載しています。定期的に見直し、各学校における日々の実践を充実させるために、有効活用してください。



ねころんて書よむひとや春の草 正岡子規

春は「変化」の多い季節でもあります。新しい環境の中でストレスを感じる事が多く、疲れもたまりやすくなります。

少ししんどいなと感じた時には、一歩外に出てみましょう。春らしい生き生きとした風景がいろいろなところに広がっています。忙しい毎日ですが、春の息吹を感じながら、のんびり本を読むといったリフレッシュの時間も大切にして、この4月を有意義なものにしてほしいと思います。